

くる鉄グリーン車無料に

内容練り上げ提案したい



さかもと 議員
あや 坂本

はやっているか。車椅子の乗車スペースのある列車の時刻表への掲載はできないか等、広域公共交通協議会へ意見を出したが、回答はどうであったか。また、直ぐに対応が無理ならグリーン車を車椅子利用者や高齢者、子様連れの方々の優先車輛として無料にする提案をしてはどうか。

答 大西町長

他の対応状況は再度確認する。車椅子のスペースがある車両の時刻表掲示は定時に同じ車両が運行されるわけではないので掲載は難しいと正式な回答があった。

くる鉄区間のグリーン車無料については、練り上げて提案をさせていただきたい。

問 地域公共交通の実証実験も3年の期限が来た。路線、

黒潮町は、グリーン車の利用助成をしているが他市町村

スの運行、デマンドバスの運行など取り組みが見えてきたが、今後はどのように取り組むのか。

また、観光客に対する公共交通の役割と利便性をどう図るか。デマンドバスを観光客が利用できれば利用率も上がり、経費も削減されると思う。

答 武政総務課長

公共交通空白地域への路線バスはルートの見直し等を行なった。今後も継続して運行する。北郷地区に走らせたデマンドバスは経過を見ながら検討を加え全町に周知を図り、必要ならエリアの拡大を図る。高知西南交通の観光パック商品や駅前広場の整備等で、土佐入野駅で降りられた観光客の方をどのようなことで町内に案内するかといったこともフォローしていきたい。

問 タクシーチケット、福祉タクシー等の取扱いはどう議論されたか。

答 宮川健康福祉課長

黒潮町地域公共交通活性化協議会では、佐賀地域にはタクシー事業者がなく対象範囲から外れ、タクシーチケットの支給事業は厳しい。また、黒潮町障がい者連盟からタクシー券の利用、通院費補助も含む福祉手当の増額要望があったこともあり具体的な検討結果が出されるまでには至っていない。また、公共交通活性化協議会では、福祉施策にかかわる積極な討議の場

策にかかわる積極な討議の場になり、黒潮町内の高齢の方や障がいを持つ皆さまの移動支援など課題解消に向けて、あつたかふれあいセンターの外出支援の方向性、タクシーチケット、福祉タクシーなどの導入、基幹となる公共交通の利用方法や各種サービスの連携方法を総合的、専門的に協議する場を設ける必要があると考えている。



入野を走る黒潮鉄道